

令和2年度指定管理者モニタリング評価表

施設名	羽咋市ファミリーランド、羽咋市ちびっ子自然センター及び羽咋市ふれあいキャンプ場	所在地	羽咋市柳田町シ1番地
指定管理者	NPO法人 日本中国朱鷺保護協会		
住所	石川県羽咋市次場町ツ10番地	選定方法	公募
指定期間	平成31年4月1日～令和4年3月31日		
指定管理料	2,101千円(令和2年度現計予算額)		
評価担当課	環境安全課		
年度重点目標	魅力的な施設運営を行い利用者及び地域住民に対するサービスの向上と利用料の増進を図る。		

評価項目	評価する内容の詳細	評価		確認方法	備考
		中間	年間		
1 職員配置などの実施体制	仕様書・事業計画書どおりの人員配置がなされているか。	A		書類	月次報告書により確認
	事業計画書に則した職員研修が実施されているか。	A		聞き取り	後期に研修予定
	指定管理業務の全部、又は主たる業務を再委託していないか。(届出済みの業務委託部分は除く)	A		書類 聞き取り	再委託無し
2 施設、設備及び備品の維持管理の状況	仕様書等に基づき適正に維持管理業務が実施されているか。	A		現地	適正になされている
	整理整頓・清掃がなされており、植栽等についても美観を損なっていないか。	B		現地	定期的に草刈り・清掃の実施(一部草刈りの不備があったが改善済み)
	法定保守点検について、点検内容、時期等が法令基準に基づき実施されているか。	A		書類	書類等確認(保守点検報告書等)
	保守点検において、異常が認められていた場合、また、修繕が必要な箇所が見つかった場合、適切な処置が実施されたか。	A		書類	報告書の受付により随時修繕の実施
	備品等に過不足がなく、適正に管理されているか。	A		書類 現地	台帳による現地照合の実施
3 サービス向上への取組状況(アンケート調査による意見及び対応は項目9に)	ホームページなどで積極的に情報提供が行われているか。	A		聞き取り	フェイスブック及び市ホームページでの提供実施
	特定の利用者を優遇したり、法令に基づく手続を経ることなく、利用を制限している事例はないか。	A		書類	事例なし(月次報告書による確認)
	利用者に対して満足度について調査(アンケート・意見箱の設置等)を行ったか。	A		書類	アンケート確認及び聞き取り調査の実施
	苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A		聞き取り	主だった苦情なし(個別ごと適正に対応している)
4 防犯・防災対策の取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。避難訓練等は実施されているか。	A		聞き取り	防火訓練の実施(後期1回予定)
	リスクに応じた保険等に加入しているか。	A		書類	適正に賠償責任保険の加入(2種類)

評価項目	評価する内容の詳細	評価		確認方法	備考	
		中間	年間			
5	個人情報保護の措置状況	個人情報とは適正に管理されているか	A		現地	ロッカーに施錠保管のうえ月次報告書に添付提出
6	経理の執行管理状況	団体のその他の事業との区分を明確にし、適正に経理処理が実施されているか。	A		書類	適正になされている(月次報告書による収支管理表の確認)
		収支計画書と大きな隔たりはないか。ある場合は、その原因は何か。	D		書類	[別紙]施設の利用者数及び収入額について確認 今年にはコロナ禍による著しい減数減収がある
		料金等の収入が適正に得られているか。著しい増減がある場合は、その原因は何か。	D		書類	野外炉申請書及び収支明細書で確認 [別紙]施設の利用者数及び収入額について確認 今年にはコロナ禍による著しい減数減収がある
7	施設利用状況	施設の利用が十分に行われているか。利用者数、施設稼働率等に著しい増減がある場合は、その原因は何か。	D		書類	野外炉申請書及び収支明細書で確認 [別紙]施設の利用者数及び収入額について確認 今年にはコロナ禍による著しい減数減収がある
8	市への報告体制の確保	月例報告・実績報告・その他必要な報告が適切に提出されているか。	A		書類	毎月、月報告等が提出されている
9	アンケート調査意見及び対応	利用者へのサービス向上に努め、可能な範囲内で積極的な対応を実施しているためアンケート結果については概ね良好であった。 (夜間の到着時間に対応した受付手続きの実施等)				
10	今後、検討・調整が必要な事項	<ul style="list-style-type: none"> ・経年劣化による修繕箇所(屋外大型施設等)があり、利用者へのサービスに支障をきたす恐れがあるため予算措置の検討を要する。 ・管理施設において照明設備のLED化と電気機器設備等の更新の検討が必要である。 ・駐車場横の公衆トイレ施設の自動手洗い改修と女子トイレの一部洋式化への予算措置の検討を要する。 ・コロナ禍の影響によりふれあいキャンプ場を閉鎖(4月11日～5月22日)対応したことにより、利用者と利用料がゼロとなった。また、施設の再開後においても利用者の減数と収益の減収が続いている。 				
11	今後の管理方針	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境施設の機能を十分に発揮できる体験教室など魅力ある企画を実施し利用者数・収益の増加と情操教育のための適正な施設管理と利用ニーズにあった運営と管理を図る。 ・コロナ禍の影響により利用者数・使用料収益額が著しく下限値となっており、今後の運営において必要最小限の支出により運営を図る。 				
総合評価		中間評価	年間評価		令和元年度	平成30年度
		A			A	A